

各市町から応援の手が
寄せられる

今回の雪害に対して、福井市、坂井市、越前市、南越前町から給水車が貸し出され、フル活用させていたが、だきました。

岡山県総社市からは、軽油4000ℓが届き、軽油不足で除雪が困難となる状況が避けられました。

県からは軽油3900ℓの手配について支援を受けたほか、2月10日、12日の間、県の災害対策本部より9人の県職員が派遣され、市内の空き家の状況調査などにご協力いただきました。



総社市から軽油4,000ℓが届く



県庁職員が空き家状況調査に協力



県内他市町から給水車の貸与を受ける

大雪をのりこえて 春を呼ぶ奇祭 勝山左義長まつり開催



1 番太鼓の後、おはやしが会場に響く

一番太鼓は下長洲区

小雨が降るあいにくの天候でしたが、今年の一 番太鼓を



1 番太鼓を務めた堀貢さん

約8万人の人出で賑わう

毎年恒例の「勝山左義長まつり」は今年は大雪の影響で中止も検討されましたが、各区との話し合いにより、2月24日・25日の両日、無事に開催されました。

まだ多くの雪が残る中、大雪の苦勞を吹き飛ばすように、街中に賑やかなおはよしの音が響き渡りました。そうした雰囲気誘われたのか、今年も8万人と多くの人出で賑わいました。

務める下長洲区の櫓の前には多くの人が詰めかけ、まつりの始まりを心待ちにしています。

午後1時に一番太鼓が打ち鳴らされると、各区の櫓でも一斉におはやしが始まり、まつりの会場は一気に華やかな雰囲気になりました。

国に対して支援と今後の対策検討を要請



石井国土交通相（右から2人目）への要請の様子

今回の大雪被害を受け、山岸市長は、西川知事や県議会の松田議長、災害対策本部を設置した他の市町長らとともに2月21日、除排雪経費や農業施設被害復旧への財政支援を、総務、国土交通、農林水産の各省庁に要請しました。

山岸市長は要請の中で「高齢化が進み、自力で除雪ができなくなっている現状と、輸送・移動に必要なライフラインである国道と、中部縦貫自動車道の除雪による通行確保」を訴えました。

道路除雪に除雪車がフル稼働



幹線道路などの交通確保のために市や建設業者が保有する除雪車がフル稼働しました。積雪が落ち着いた以降も、道路の拡幅や排雪作業が続き、夜間作業も発生するなど、作業員には精神的にも体力的にも厳しい状況が続きました。

今回の節水および断水について

1月29日～2月26日の長期間において、平泉寺および片瀬配水池の水位低下により、市民の皆さまに大変ご不便をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

今後は給水制限の解消に向け、各種調査や設備の見直しを図るとともに、新たな水源確保のための調査・検討などに取り組んでまいります。

